

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-274280
(43)Date of publication of application : 30.09.1994

(51)Int.Cl. G06F 3/06

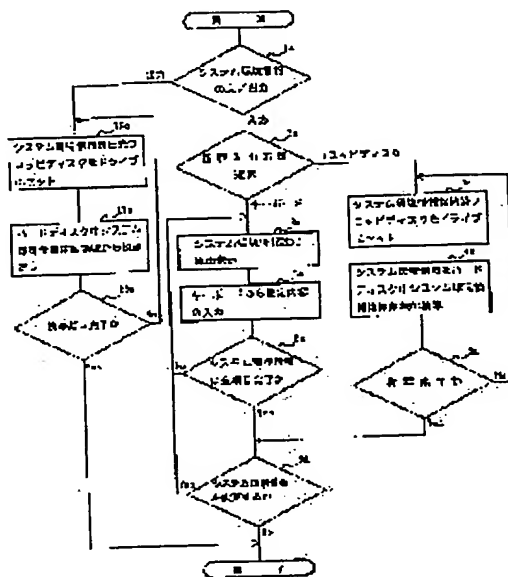
(21)Application number : 05-058368 (71)Applicant : HITACHI LTD
(22)Date of filing : 18.03.1993 (72)Inventor : TSUNODA MASAHIKO

(54) METHOD FOR SETTING UP SYSTEM ENVIRONMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To surely set up the information of a system environment and to improve working efficiency.

CONSTITUTION: The information of a system environment is set up through a keyboard (6a to 8a), stored from a backup floppy disk to a hard disk (3a to 5a) and then read out from the hard disk to the backup floppy disk (10a to 12a).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-274280

(43)公開日 平成 6 年(1994) 9 月30日

(51)Int.Cl.⁵

G 0 6 F 3/06

識別記号

3 0 4 F

庁内整理番号

7165-5B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 6 頁)

(21)出願番号

特願平5-58368

(22)出願日

平成 5 年(1993) 3 月18日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

(72)発明者 角田 雅彦

茨城県勝田市市毛1070番地 株式会社日立

製作所水戸工場内

(74)代理人 弁理士 小川 勝男

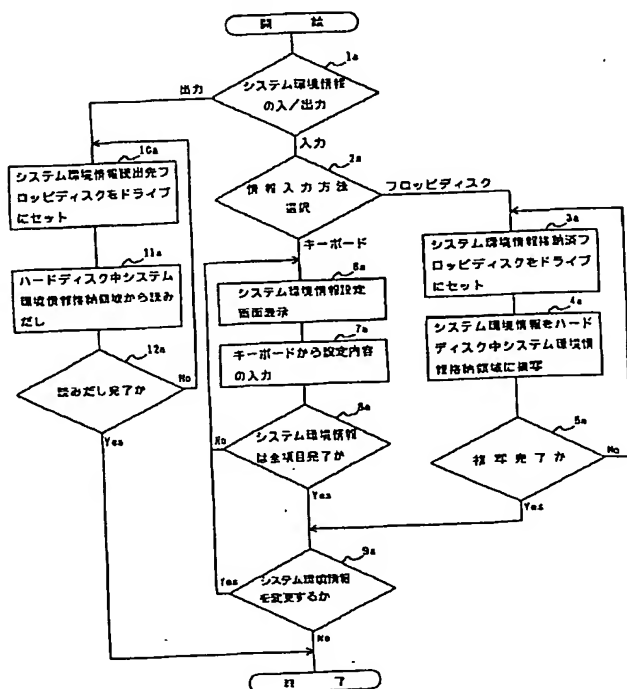
(54)【発明の名称】 システム環境設定方法

(57)【要約】

【目的】システム環境の情報設定を確実にし、作業効率を向上させる。

【構成】キーボードを使ったシステム環境の情報の設定 (6 a から 8 a)、システム環境の情報バックアップ用フロッピディスクからハードディスクへ格納 (3 a から 5 a)、システム環境の情報をハードディスクからバックアップ用フロッピディスクへ読みだす (10 a から 12 a)。

図 1



【特許請求の範囲】

【請求項1】 フロッピディスクのような可搬性の記憶媒体とハードディスクのような不揮発性記憶媒体とを有し、前記不揮発性記憶媒体に格納されたシステム環境の情報を参照して起動するワークステーションのシステムに於いて、前記システム環境の情報だけをフロッピディスクのような可搬性の記憶媒体にバックアップとして保持しておき、システム環境の再設定時、バックアップからシステム環境の情報を復帰することを特徴とするシステム環境設定方法。

【請求項2】 フロッピディスクのような可搬性の記憶媒体とハードディスクのような不揮発性記憶媒体とを有し、前記不揮発性記憶媒体に格納されたシステム環境の情報を参照して起動するワークステーションのシステムに於いて、同一システムに接続される複数台のワークステーションのシステム環境設定時、1台目のワークステーションのシステム環境の情報をフロッピディスクのような可搬性の記憶媒体にバックアップとして保持し、2台目以降の各ワークステーションのシステム環境設定では1台目のワークステーションのシステム環境の情報を複写し、1台目のワークステーションとのシステム環境の情報の相違箇所のみをキーボードから再設定できるようにしたことを特徴とするシステム環境設定方法。

【請求項3】 フロッピディスクのような可搬性の記憶媒体とハードディスクのような不揮発性記憶媒体とを有し、前記不揮発性記憶媒体に格納されたシステム環境の情報を参照して起動するワークステーションのシステムに於いて、システム環境の再設定時、バックアップ用のフロッピディスクのような可搬性の記憶媒体からとキーボードからシステム環境の情報の復帰方法を選択できるようにしたことを特徴とするシステム環境設定方法。

【請求項4】 フロッピディスクのような可搬性の記憶媒体とハードディスクのような不揮発性記憶媒体とを有し、不揮発性記憶媒体に格納されたシステム環境の情報を参照して起動するワークステーションのシステムに於いて、システム環境の再設定時、バックアップ用のフロッピディスクのような可搬性の記憶媒体から復帰したシステム環境の情報を、キーボードから修正時デフォルト値として表示できるようにしたことを特徴とするシステム環境設定方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、フロッピディスクのような可搬性の記憶媒体とハードディスクのような不揮発性記憶媒体とを有し、不揮発性記憶媒体に格納されたシステム環境の情報を参照して起動するワークステーションのシステムに於いて、システム環境の情報を設定する方法に係り、特に、システム環境の再設定、同一システムに接続される複数台のワークステーションのシステム環境の設定方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のワークステーションのシステム環境設定方法は、同一システムに接続された複数台のワークステーションのシステム環境の設定では、システム環境の情報の共通箇所が多いにもかかわらず、各ワークステーション毎にシステム環境設定を画面上に表示されたメニューに従ってキーボードから1項目ずつ入力していた。また、ハードディスクが故障した場合、ハードディスクを交換することになるため格納されていたオペレーティングシステムばかりでなく、システム環境の情報も失われてしまうため、その都度、再度画面上に表示されたメニューに従ってキーボードから1項目ずつ入力システム環境の情報を設定し直さなければならなかった。

【0003】 また、システム内部のメモリにプログラムを格納するものが特開昭62-236033号公報に記載されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上記のように従来技術は、ワークステーションが複数台ある場合、各ワークステーション毎にシステム環境の情報を設定しなければならなかった、しかし、同一システムに接続されたワークステーションの場合、システム環境の情報は、共通箇所が多いにもかかわらず、各ワークステーション毎にシステム環境設定を画面上に表示されたメニューに従ってキーボードから1項目ずつ入力しなければならないのは、入力回数が増えてしまい作業効率を向上するのは難しく、入力誤りの発生する可能性が増えるといった問題点がある。さらに、ハードディスクが故障した場合、ハードディスクを交換することになるため格納されていたオペレーティングシステムばかりでなく、システム環境の情報も失われてしまうため、その都度、画面上に表示されたメニューに従ってキーボードから1項目ずつ入力していたのでは、保守性が悪いといった問題点がある。

【0005】 本発明の目的は、システム環境の情報設定を確実にし、作業効率を向上するための手段を提供するにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を解決するために、本発明はシステム環境設定を、従来の画面上に表示されたメニューに従ってキーボードから入力する機能の外に、システム環境の情報のバックアップを保存するためのフロッピディスクのような可搬性の記憶媒体を用意し、前記記憶媒体からハードディスクのような不揮発性記憶媒体にシステム環境の情報を格納する機能、とシステム環境の情報をフロッピディスクのような可搬性の記憶媒体に読みだす機能とを備えたものである。

【0007】 また、システム環境の設定手段を、バックアップ情報を保存したフロッピディスクからとキーボードからと選択できるようにした機能を備えたものである。

【0008】さらに、バックアップ情報を保存したフロッピディスクからハードディスクにシステム環境の情報を格納後、キーボードから変更する際、既に格納されている情報をデフォルト値として画面上に表示し、変更する情報以外は先送りできるようにした機能を備えたものである。

【0009】

【作用】システム環境の情報のバックアップを保存するためのフロッピディスクのような可搬性の記憶媒体を用意し、記憶媒体からハードディスクのような不揮発性記憶媒体にシステム環境の情報を格納する機能とシステム環境の情報をフロッピディスクのような可搬性の記憶媒体に読みだす機能とを備えることによって、ハードディスクが故障した場合、システム環境の情報が失われてしまってもシステム環境の情報をバックアップとして保存してあるため、フロッピディスクから容易にシステム環境の情報を再度設定し直すことができる。

【0010】また、システム環境の設定手段を、バックアップ情報を保存したフロッピディスクからとキーボードからと選択できるようにした機能とバックアップ情報を保存したフロッピディスクからハードディスクにシステム環境の情報を格納後、キーボードから変更する際、既に格納されている情報をデフォルト値として画面上に表示し、変更する情報以外は先送りできるようにした機能とを備えることによって、同一システムに接続される複数台のワークステーションのシステム環境設定は、1台目のワークステーションのシステム環境設定を行った後に、1台目のワークステーションのバックアップ情報を保存したフロッピディスクにシステム環境の情報を一旦読みだして、2台目以降のシステム環境の設定では、1台目のワークステーションのシステム環境の相違個所の情報のみキーボードから設定し直せばよくなる。

【0011】本発明は、キーボードからの入力回数を減少させることによって、システム環境の情報設定を確実にし、作業効率を向上することができる。

【0012】

【実施例】本発明の一実施例を、添付図面によって説明する。

【0013】図1は、システム環境情報の設定、格納、読みだし制御用フローチャートである。まず、初期化されたハードディスクにオペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェアをハードディスク中のオペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェア格納領域に格納する。格納が済んだ後、制御装置に組み込まれている機器、接続している機器、通信環境に関するシステム環境の設定を行う必要がある。同一のシステムに於いて複数のワークステーションのシステム環境の設定を行う場合は、1台目のワークステーションのシステム環境情報を対話形式でキーボードから1項目ずつ全項目が設定完了するまで入力を繰り返す。また、2台目

以降のワークステーションのシステム環境の初期設定は、1台目のワークステーションのシステム環境情報の複写を取り、相違個所のみの変更で行う。

【0014】図1において、システム環境情報の入/出力(ステップ1a)で“入力”を選択、情報入力方法選択(ステップ2a)で“キーボード”を選択、システム環境情報設定画面(ステップ3a)が表示されるので対話形式でキーボードから1項目ずつ値を入力する。値を入力し“復改”または、“実行”を入力すると自動的に次のシステム環境情報設定画面(ステップ3a)が表示されるので同様にキーボードから入力をシステム環境情報が全項目完了(ステップ8a)するまで繰り返す。最後に、今まで設定したシステム環境情報を変更(ステップ9a)し直さないのであればシステム環境の設定は終了する。図2において、システム環境の設定は終了すると制御装置(ステップ3b)が、ハードディスク(ステップ5b)中のシステム環境の格納領域(ステップ7b)にシステム環境の情報を格納する。2台目のワークステーションのシステム環境情報の設定については、1台目のワークステーションで設定完了したシステム環境の情報を、一旦、ハードディスクのシステム環境の格納領域からバックアップ用のフロッピディスクに読みだしする。

【0015】図1において、システム環境情報の入/出力(ステップ1a)を“出力”に選択、フロッピディスクをドライブにセット(ステップ10a)、ハードディスク中システム環境情報格納領域から読みだし(ステップ11a)、1枚のフロッピディスクに読みだしきれなかった場合(ステップ12a)は、フロッピディスクを入替えて読みだしを繰り返す。図2において、制御装置(ステップ3b)によって、ハードディスク(ステップ5b)中のシステム環境の格納領域(ステップ7b)からフロッピディスク(ステップ4b)にシステム環境の情報が読みだされる。

【0016】読みだしが完了したら、1台目のワークステーションから読みだしたシステム環境の情報を2台目のワークステーションに格納する。格納したシステム環境の情報と2台目のワークステーションのシステム環境の情報の相違個所のみを2台目のワークステーションのキーボードから入力し、変更する。同一個所は、先送りしてゆく。図1において、システム環境情報の入/出力(ステップ1a)で“入力”を選択し、情報入力方法選択(ステップ2a)で“フロッピディスク”を選択し、1台目のワークステーションのシステム環境情報をバックアップ済みのフロッピディスクをドライブにセット(ステップ3a)、システム環境情報をハードディスク中システム環境格納領域に格納(ステップ4a)、格納が完了(ステップ5a)するまで繰り返す。格納が完了した後、キーボードからシステム環境の情報を変更する(ステップ9a)。システム環境情報設定画面(ステッ

ブ3 a)が表示されるので対話形式でキーボードから1項目ずつ値を入力し“復改”または、“実行”を入力し終わるか、または、変更する情報以外は“復改”または、“実行”を入力し終わる(先送り)と自動的に次のシステム環境情報設定画面(ステップ3 a)が表示されるので同様にキーボードから入力をシステム環境の情報が入った全項目完了(ステップ8 a)するまで繰り返す。最後に、今まで設定したシステム環境情報を変更(ステップ9 a)し直さないのであればシステム環境の設定は終了する。3台目以降も同様の手順を繰り返す。同様の手順を図2を使い説明すると、制御装置(ステップ3 b)がハードディスク(ステップ5 b)中のシステム環境の格納領域(ステップ7 b)からシステム環境の情報を、フロッピディスク(ステップ4 b)に読み出す。1枚のフロッピディスク(ステップ4 b)に読みだし切れなかった場合は、フロッピディスク(ステップ4 b)を入替えて読みだしを繰り返す。読みだしが完了したら、フロッピディスク(ステップ4 b)を制御装置(ステップ10 b)のドライブに入れる。制御装置(ステップ10 b)が、フロッピディスク(ステップ4 b)からハードディスク(ステップ12 b)中のシステム環境の格納領域(ステップ14 b)にシステム環境の情報を格納する。格納が完了したら、ディスプレイ装置(ステップ9 b)に表示されたシステム環境情報設定画面に対してキーボード(ステップ8 b)から入力をシステム環境情報が全項目完了するまで繰り返す。相違個所以外は、デフォルト値(1台目のワークステーションのシステム環境の情報)のままでよいと入力する必要がないため先送りする。システム環境情報の相違個所のみキーボード(ステップ8 b)から入力する。システム環境の設定が終了すると制御装置(ステップ10 b)が、ハードディスク(12 b)中のシステム環境の格納領域(ステップ14 b)にシステム環境の情報を格納する。3台目以降も同様の手順を繰り返す。また、2台目以降のシステム環境のバックアップは、システム環境設定後に必ず実施する。バックアップ用のシステム環境の情報の格納したフロッピディスクは、各ワークステーションに添付する。

【0017】また、ハードディスク中のシステム環境の

情報をバックアップ用のフロッピディスクに保存しているため、ハードディスクが故障して、格納されていたオペレーティングシステムばかりでなく、システム環境の情報の再設定が必要になっても、図1において、バックアップ用のフロッピディスクからハードディスク中のシステム環境格納領域に複写(ステップ4 a)する機能を使い、再度、システム環境の情報をハードディスク中に戻してやればよくなる。

【0018】

【発明の効果】本発明によれば各ワークステーションのシステム環境の情報のバックアップをフロッピディスクに保存するため、ハードディスクの故障でシステム環境の情報が失われてしまっても保守する場合でも、容易に復旧可能である。また、複数台のワークステーションのシステム環境の情報を初期設定する場合でも、2台目以降の初期設定は、1台目の初期設定の情報の複写したものを利用するため、入力回数が減り入力誤りを減少させる事ができる。この効果は、システム環境の情報量が大きくなればなるほどその効果は大きくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示すフローチャート。

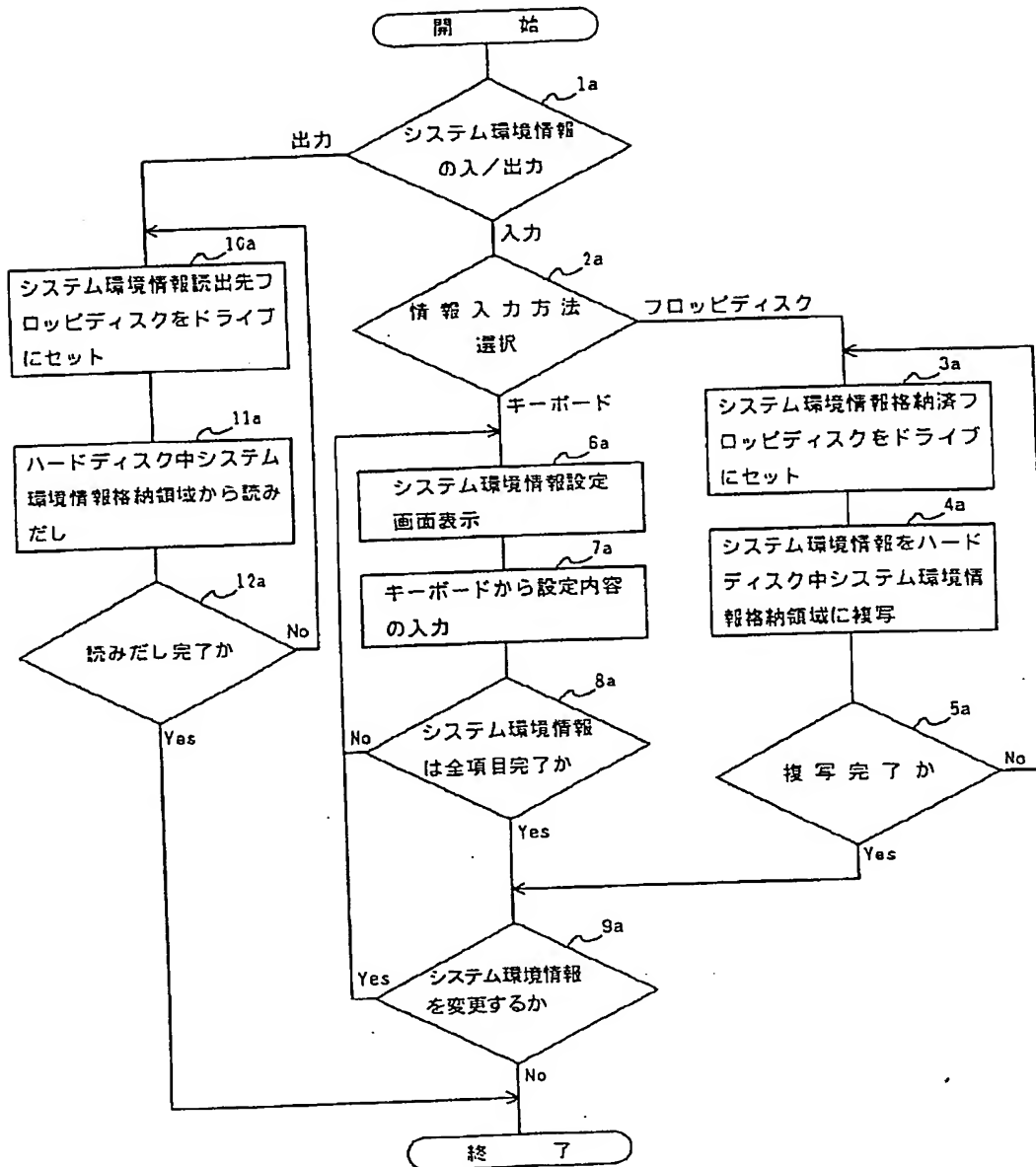
【図2】本発明の一実施例を説明するためのシステムのブロック図。

【符号の説明】

1 b...1台目のワークステーションのキーボード、2 b...1台目のワークステーションのディスプレイ装置、3 b...1台目のワークステーションの制御装置、4 b...1台目のワークステーションのフロッピディスク装置、5 b...1台目のワークステーションのハードディスク装置、6 b...1台目のワークステーションのオペレーティングシステムやアプリケーションソフトウェア格納領域、7 b...1台目のワークステーションのシステム環境の格納領域、8 b...2台目のワークステーションのキーボード、9 b...2台目のワークステーションのディスプレイ装置、10 b...2台目のワークステーションの制御装置、11 b...2台目のワークステーションのフロッピディスク装置、12 b...2台目のワークステーションのハードディスク装置。

【図1】

図 1



(6)

【図 2】

図 2

